後期 学校評価

- 1 学校評価の目的
- 2 学校評価の方法
- 3 後期自己評価
- 4 学校関係者評価
- 5 資料

南アルプス市立
白根御勅使中学校

1 学校評価の目的

- ① 各学校が、自らの教育活動その他学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図ること。
- ② 各学校が、自己評価及び保護者など学校関係者等による評価の実施とその結果の公表・説明により、適切に説明責任を果たすとともに、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めること。
- ③ 各学校の設置者等が、学校評価の結果に応じて、学校に対する支援や条件整備等の改善措置を講じることにより、一定水準の教育の質を保証し、その向上を図ること。

2 学校評価の方法

- ① 自己評価は、全職員による自己評価をもとに、生徒・保護者へのアンケート（生徒年2回、保護者年2回）の結果を加えて行う。
- ② 自己評価は、年2回行う。
- ③ 自己評価の結果を踏まえて、学校関係者評価委員会による学校関係者評価を年2回行う。
- ④ 自己評価と学校関係者評価の結果を公表する。
- ⑤ 自己評価と学校関係者評価の結果をもとに、改善点を全職員で共有し、来年度以降の学校教育に活かしていく。

3 後期自己評価

I 自己評価の具体的方法

- ① 本年度の学校教育目標をふまえて、評価項目を決定する。
- ② 全職員が評価項目を4段階で評価する。
 - 4；よく当てはまる・十分達成している
 - 3；やや当てはまる・概ね達成している
 - 2；あまり当てはまらない・どちらかという達成していない
 - 1；まったく当てはまらない・ほとんど達成されていない
- ③ 全員の評価結果を集計し、項目ごとの平均値を算出する（小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁で数値化）。この平均値を次のカッティングポイントに照らして、判定する。

3. 0以上		A（概ね良好である）
2. 9～2. 5		B（工夫・改善の余地がある。）
.....		
2. 4～2. 1		C（工夫・改善が必要である。）
2. 0以下		D（根本的に工夫・改善を図る必要がある。）

- ④ 全生徒と全保護者に向けて行うアンケートは、職員の自己評価項目と関連させながら項目を決定し、職員の自己評価同様4段階の数値で評価する。アンケートの結果から項目ごとの平均値を算出し、職員の自己評価と同じカッティングポイントで判定（A～D）する。
- ⑤ 職員による自己評価をもとに、これに生徒・保護者へのアンケート結果を加えて自己評価書を作成する。

Ⅱ 後期自己評価結果（自己評価書）

南アルプス市立白根御勅使中学校	平成31年1月9日（水）作成
学校長 浅利 司	記載者氏名 教頭 樋口玲子

1 本年度の学校教育目標

- (1) 校訓 「一生懸命」
- (2) 目指す学校像
- ①生徒一人ひとりを大切にする生徒
～生徒と教師がしみじみと話することができる学校～
 - ②生徒が学力向上を自覚できる学校
～生徒が、わからないところを教師に質問できる学校～
 - ③教職員の息がぁっている学校
～教職員が短時間の情報交換をこまめに行う学校～
- (3) 目指す生徒像
知を磨く生徒 心を耕す生徒 体を鍛える生徒 故郷を愛する生徒
- (4) 学校教育目標 「志を持ち、道を拓く生徒」
- (5) 五本柱
- 知力 ～知識・技能、思考力・判断力・表現力を育てる～
 - 心力 ～たくましく他を思いやるやさしい心、粘り強く取り組む強い心を育てる～
 - 体力 ～たくましく生きる健康な体を育てる～
 - 安全 ～命の大切さを考え、家族や友達に目を向けると同時に、災害に対しても自分で考えて行動できる生徒を育てる～
 - 信頼 ～生徒を中心にして、学校と家庭、地域、関係機関が連携する～

2 職員自己評価集計結果（資料1）、保護者アンケート（資料2）、生徒アンケート（資料3）

平成30年12月に、前期同様、学校職員による自己評価と保護者へのアンケート及び生徒によるアンケートを実施した。その質問項目と集計結果を、資料1～3に示した。

後期の自己評価は、前期と同じ評価項目で実施した。本年度は、評価項目の大幅な見直しを行い、職員自己評価は34項目から32項目となっている。

また、生徒へのアンケート及び保護者アンケートについても、前期と同じ評価項目で実施した。

こちらでも本年度、整理統合を行い、生徒アンケートは2項目増の24項目で実施し、保護者へのアンケートは2項目減の25項目で実施した。

保護者アンケートの回答率は97%と前期同様に非常に高く、本校への関心や協力姿勢のあらわれであることがうかがえる。今後とも家庭・学校との連携をさらに推進していきたい。

3 評価と改善策

(1) 全体的な評価

職員による自己評価の結果は、32項目中の30項目がA判定、2項目がB判定となった。前期は全項目がA判定であったことを考えると、2項目がB判定に下がったことは重大な課題として捉えなければならない。ただし、全体的には14項目が前期より上昇、12項目が現状維持であり、残りの6項目も1項目を除いては0.1ポイントの下降であったことから、本校では後期も概ね良好な教育活動が行われていると判断できる。

B判定であった2項目は、No.16「個に応じた学習指導」とNo.20「道徳教育」であった。特に「道徳教育」は0.4ポイント下降しており、改善に向けて早急に取り組まなくてはならない課題となっている。来年度からの道徳の教科化を直前に控え、教科書や評価等も含めて様々な面への不安や危機感を反映した数値であると考えられるが、これをチャンスと前向きにとらえ、積極的に「考え議論する道徳」の転換を図り、道徳教育の充実に取り組んでいかなければならない。

保護者のアンケートについては、25項目中22項目でA判定、3項目がB判定という結果であったが、12項目で0.1～0.2ポイント上昇しており、全体的には評価は上がっていると捉えることができる。しかし、B判定は前期と同様、No.2「学習意欲」、No.9「進路学習」、No.12「家庭学習の習慣化」であり、学校全体で取り組んではいるものの数値として表れてはいない。尚一層、教師の授業力向上や計画的な進路学習等に積極的に取り組んでいく必要がある。

生徒のアンケートについては、24項目中23項目でA判定、1項目がB判定という結果が出た。前期においてB判定であったNo.14「自己肯定感」は、後期では0.1ポイント上昇しA判定となった。また、No.1「学校は楽しい」が前期より0.2ポイント上昇し3.4となったことを始め他の11項目で0.1ポイント上昇している（下降した項目はない）ことから、生徒たちが充実した学校生活を送れていることが見て取れる。しかし、No.12「家庭学習の習慣化」は、前期も含め、ここ数年連続してB判定であり、学校と家庭が連携して取り組んでいかななくてはならない重大な課題となっている。

以上の結果については、職員全体で真摯に受け止め、共通理解を持って改善に努め、3学期以降の教育活動に生かしていきたい。

(2) 各項目の評価と改善策

評価項目Ⅰ 「学校教育目標」に関して
<p>【自己評価】</p> <p>2項目ともA判定であり、共通認識のもと、教職員が学校目標を意識して教育活動にあたっていると考えられる。No.1「学校教育目標は、生徒・地域の実態に即している」は前期に比べ0.1ポイント下がってはいるが、3.5ポイントの高評価であった。</p>
<p>【改善策】</p> <p>全体的には、これまでの努力を継続していくことが重要である。全教職員が、あらゆる場面において学校教育目標を意識し、日々の全ての教育活動を、より一層粘り強く取り組んでいく。また、常に保護者や地域の声に耳を傾け、生徒の実態把握に努めていく。</p>

評価項目Ⅱ 「学校経営・学校運営」に関して
<p>【自己評価】</p> <p>7項目すべてがA判定である。評価の数値が高く、前期に比べ3項目の数値が上昇していることから、引き続き望ましい教育活動が行われていると考える。特にNo.7「安全教育」は、前期では昨年度に比べ-0.3ポイントであったが、後期では0.3ポイント上昇し3.6ポイントの高評価となっている。避難訓練等の防災訓練を始め、日常的に健康・安全に配慮した教育が行われていると考える。</p> <p>しかし、前期において昨年度から-0.4ポイントであったNo.4「組織的な教育活動」は、後期においても前期と同じ数値であった。3.4ポイントのA判定ではあるが、引き続き学校組織としては全体的な緩みを警戒していかなければならない。</p>
<p>【改善策】</p> <p>この結果に満足せず、尚一層、組織・チームとして対応していくことを重要視する。学校現場では、分掌に関わらず「気が付いた教職員」がすることがあるが、それに甘えることなく、一人一人の教職員が組織の一員として、「報告・連絡・相談・確認」を怠らず、かつ、自分自身の立場や役割を果たすよう努めなければならない。そのために、「やまなし人材育成指標」の意識化を図るとともに、校内研究等の研修の充実を推進し、個々の教師の資質・能力の向上を目指していく。同時に、運営委員会、生徒指導部会、学年部会等がその機能を発揮し、組織力が更に高まるよう努めていく。</p>

評価項目Ⅲ 「学習指導」に関して
<p>【自己評価】</p> <p>7項目中6項目がA判定であったが、1項目がB判定となった。また、ポイントも2.9~3.3であり、多くの教師が課題としてとらえていることがわかる。</p> <p>B判定であったのはNo.16「個に応じた指導」である。前期の3.0ポイントから0.1ポイントマイナスの2.9ポイントとなり、必要性は感じつつも、時間等の制約から十分に指導できていないこ</p>

とがわかる。

また、A判定ではあるが前期に比べ0.1ポイントの項目が、No. 13「言語活動」とNo. 15「宿題・家庭学習」の2項目である。特に「宿題・家庭学習」に関しては、保護者は前期と同じ2.7ポイントのB判定、生徒も前期と同じ2.8ポイントのB判定であった。各学年共に自主学習ノート等への取り組みを続けているが、なかなか数値には表れてこない。定着することの難しさが見えてくる。

逆に、No. 11「わかりやすい授業」、No. 13「言語活動」は、教師の自己評価は3.0、3.1ポイントであるが、保護者は3.3、3.4ポイント、生徒は3.5、3.5ポイントと前期同様、高評価であった。「やまなしスタンダード」を意識した授業作りや学び合いを取り入れた授業など、個々の教師の努力や工夫が保護者や生徒に受け入れられている反面、教師側はまだまだ不十分であると感じていることがわかる。新学習指導要領で求められる「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた組織的な授業改善に、尚一層努力し、取り組んでいかなければならない。

【改善策】

家庭学習の習慣化は、各学年が自主学習ノート等を工夫して取り組みを進めており、数値には表れないものの、内容の変化等、少しずつ生徒の変容は感じられている。校内研究でも、他校の取り組みを紹介したり、家庭での学びを推進する課題の研究に取り組んだりしていく。

また、本校の課題の一つである学力の向上に関しては、教師の授業改善と授業力の向上が欠かせない。校内研究を核とし、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、全員が授業を公開し、話し合いや意見発表などの学び合いのある授業に取り組んでいるところであり、これからの時代を生き抜く子供たちに求められる資質・能力の育成を目指し、今後も研究を進めていかなければならない。そのために、先進校の視察や講師の招聘などを推進し、積極的に改善に取り組んでいく。

評価項目Ⅳ 「生徒指導」に関して

【自己評価】

10項目中9項目がA判定、1項目がB判定であった。前期に比べ6項目の数値が上がっており、本校の生徒たちが引き続き落ち着いた学校生活を送っている様子が見えてくる。特に、No. 17「生徒理解」、No. 19「生徒の努力や工夫を認める」、No. 22「いじめの防止」は、教師・保護者・生徒が共に3.4ポイント～3.7ポイントの高評価であり、教師と生徒、及び生徒同士の関係が良好であることがわかる。

しかし、No. 21「進路指導」については、教師が3.3ポイントであるのに対し、保護者は2.8ポイントのB判定であった。ただし、生徒も含め数値は上昇しており、今まで取り組んできた進路指導やキャリア教育が、徐々に成果を上げていると考えられる。

また、逆にNo. 24「ルールを守る」、No. 25「言葉遣い」、No. 26「係活動や当番活動」は、前期同様、生徒や保護者の評価に比べて教師の評価が低くなっており、教師側がこれらに関しては、「まだ十分ではない。」「もっとできるようになるのではないか。」と感じていることがうかがえる。

教職員の自己評価でB評価になったのはNo. 21「道徳教育」であり、前期に比べ0.4ポイント

の大幅ダウンとなった。これは、道徳教育に取り組めていないというより、来年度からの道徳の教科化を直前に控え、教科書や評価等も含めて様々な面への不安や危機感を反映した数値であると考えられる。これをチャンスと前向きにとらえ、積極的に「考え議論する道徳」の転換を図り、道徳教育の充実に取り組んでいかなければならない。

前期において昨年度より-0.4ポイントであったNo.18「行事等への参加」、No.26「係活動」は、それぞれ0.2ポイント上昇し、回復してきた。

【改善策】

これまで取り組んできた内容を、今後もいっそう徹底して進めていく。一人一人の生徒に誠実に向き合い、寄り添うことを大切に、生徒指導部会や学年部会やス会議等を通じ、共通理解に基づいた組織的な取り組みやチームとしての対応を進めていく。

唯一B判定となった「道徳教育」に関しては、4月からの「道徳科」の開始に向け準備を進めているところである。検定教科書や評価等、今までと違う部分はあるが、特別の教科として位置づけられたことを機会に、今まで以上に計画的、組織的な道徳教育が行われるように学校全体で取り組んでいく。

また、保護者・生徒の評価より教師の評価が低かった「ルールを守る」「言葉遣い」「当番活動」については、前期よりも回復傾向にはあるが、今後も生徒会の活動等としても取り組むとともに、学校全体で場面を捉えて適切な指導を行っていく。

評価項目V 「家庭・地域との連携」に関して

【自己評価】

前期に続き3項目すべてにおいてA判定となった。保護者や生徒もA判定であり、各家庭と担任や学校との連携が図られている成果であると捉えることができる。特に、No.24「学校の様子や情報の伝達」は、保護者が0.2ポイント上昇し3.5ポイントの高評価となった。これは、学級・学年・学校だより等や、学校HPの更新など、教育活動を広く保護者・地域に情報発信してきたことが評価されたと考えられる。

No.29「地域との連携」はA判定であるが、前期・後期ともに3.1ポイントであり、まだまだ改善の必要がある。

【改善策】

今後も、学級・学年・学校だより等の各種たよりやHPの更新による情報発信を積極的に行っていく。また、日常的にこまめに保護者の方と連絡を取るなど共通理解を図り、連携を密にしていきたい。また、今年度再開した古紙回収等、生徒が地域へ出て活動する機会を増やしたり、地域の行事への参加等を推進したりすることで地域との連携も図っていきたい。

今後は、地域人材の発掘、活用に努めたり、保護者が参加しやすい学校行事を工夫したりし、今以上に地域・家庭との連携を推進していく。

評価項目VI 「学校の特徴」に関して

【自己評価】

3項目すべてにおいてA判定であり、学校の取り組みが定着してきていると思われる。特にNo.30「部活動」、No.31「朝読書」は3.4ポイントと高評価である。保護者・生徒の評価も高く、本校の特色ある教育活動として認知されている。

No.32「あいさつ」は、生徒・保護者のアンケートからも高評価を得ており、特に生徒の評価は3.5ポイントであり、自分たちのあいさつに自信と誇りを持っていることがわかる。しかし、教職員の自己評価は0.1ポイント下がり3.1ポイントであり、教職員は「もっとできるようになる」と捉えていることがわかる。

【改善策】

全体的に良好な評価ではあるが、これで満足せず、今後も取り組みを充実させていく。

「紅タイム」の朝の10分間読書では、図書委員会を中心に「一斉読書」や「一行大賞」等にも取り組み、成果を上げている。今後も、尚一層充実した時間となるよう丁寧な指導を継続していきたい。

「あいさつ」については生徒会を中心に取り組んでいるが、全員の生徒が、全ての場面で、すすんで気持ちよいあいさつができるよう、今後も指導を積み重ねていきたい。

4 学校関係者評価

I 第2回学校関係者評価委員会

実施日：平成31年1月17日（金）午後6時30分～8時00分

会 場：白根御勅使中学校 校長室

参加者：学校関係者評価委員 …… 秋山 契（委員長） 岡貞善（副委員長）

緒方愛子 丹澤香苗 清水 望

学校職員 …………… 校長：浅利 司 教頭：樋口玲子

教務主任：望月昭栄

1 学校側から提案された内容

- (1) 白根御勅使中学校 学校関係者評価委員会会則について
- (2) 学校評価の目的について
- (3) 学校評価の方法について
- (4) 後期自己評価、保護者アンケート及び生徒アンケートの結果について

2 協議された主な内容

- (1) 自己評価結果についての全体評価
- (2) 自己評価結果から課題となる項目について
- (3) 保護者アンケート・生徒アンケートの結果と課題となる項目について
- (4) その他

II 平成30年度 南アルプス市立白根御勅使中学校学校関係者評価書 (写)

平成31年1月25日(金)

学校関係者評価委員作成

教職員による自己評価は、全32項目中の30項目がA判定、2項目がB判定であった。全体的には14項目が前期よりポイントが上昇し、12項目が現状維持であった。また、保護者アンケートや生徒アンケートの結果も前期より上昇した項目が多く、これらのことから、先生方の日頃の指導や取り組みが成果として表れ、後期も白根御勅使中学校の教育活動が良好に行われてきたと判断できる。

しかし、個々の評価の内容をみていくと、いくつか課題となる部分があり、その点について話し合いが行われた。

まず、自己評価の「学校目標」の評価である。この項目はA判定ではあるが、「どちらかという達成していない」「ほとんど達成していない」を各一人ずつが選択していることが指摘された。学校目標は、職員全員が意識し、その達成に向けて努力していかなければならないものである。懸念されるのは、まじめな職員ほど自分自身を厳しく評価し、自分を追い込んでしまう傾向にあり、その結果、悩んだり挫折したりし、精神的に落ちこんでいないかということである。無記名の評価であるため、教職員の誰が付けたかは不明であるが、前期にはなかった評価であるので、管理職の面談等の中で意見を吸い上げる等、何らかの手立てをお願いしたい。

また、後期の評価でB判定となった「個に応じた学習指導」と「道徳教育」についてであるが、B判定になった原因としてはいくつかの理由が考えられる。一つには、それぞれの教師が1年間の自分の指導を振り返って「あれが出来なかった」「これも不十分だった」と反省している結果なのではないか、ということである。また、道徳教育については、来年度からの道徳科の開始を控え、先生方が感じている不安感の表れではないか、という説明があった。

4月から新たに始まる「特別の教科 道徳」では、検定教科書の使用や評価があるということであり、特に評価に関しては先生方だけではなく、生徒や保護者も関心の高いことであるので、学校からの情報提供や説明責任をしっかりと果たしていただきたい。

併せて、毎年6月に行われる道徳の授業参観について、時期的に忙しく参観者が少なく残念である。内容が大変よいので多くの保護者の方に参観にきてもらいたい。ついては、時期の変更を検討していただきたいという意見が出された。来年度の予定はすでに決まっている部分もあり、すぐ変えることは難しいかもしれないが、検討していきたいという返答であった。

保護者アンケート及び生徒アンケートについても、前期に比べ上昇している項目が多い。特に生徒アンケートでは、前期においてB判定であった「自己肯定感」が後期ではA判定となった。これに関して、保護者や先生方が子供たちを褒めたり励ましたりする声掛けを意識的に行ってきた結果なのではないか、という意見があった。子供は自分の良さは自分ではなかなかわからない。周囲の大人の温かい見守りが重要であり、学校には今後も一人一人の生徒を大切に、寄り添う指導をお願いしたい。

保護者へのアンケート調査結果については、回答率は97%と前期に続き非常に高く、学校に対する関心や期待が高いことがわかる。学校は、その期待に応え、今後とも家庭・学校との連携をさらに深めていってほしい。

その他、古紙回収の件、緊急連絡網の件等について意見や質問が出された。

新校舎での生活も1年が経とうとしている。整ったすばらしい環境の中で、楽しい学校生活を送っている生徒が多く、学校全体としても、落ち着いた雰囲気の中、活発な教育活動が展開されている様子が感じられた。今後も引き続き、先生方には一致団結して学校運営に当たっていただきたい。また、学校教育目標でもある「志を持ち、道を拓く生徒」の育成を目指し、白根御勅使中学校の教育活動が尚一層意欲的に展開されていくことを期待する。

記載責任者

南アルプス市立白根御勅使中学校 学校関係者評価委員会委員長

秋 山 契 (印)

【資料1-1】

H30年度後期 教職員「自己評価」

平成30年12月 白根御勅使中学校

4:十分達成している, 3:概ね達成している, 2:どちらかというと達成していない, 1:ほとんど達成していない

項目	No	評価項目	合計人数				平均	判定
			4	3	2	1		
I 学校教 育目標	1	学校教育目標は、生徒・地域の実態に即したものになっている。	15	8	1	1	3.5	A
	2	あなたは、学校教育目標を意識し、生徒の指導に生かしている。	9	16	0	0	3.4	A
II 学校経 営・学 校運 営	3	あなたは、他の教職員と相互理解や信頼関係を深めて教育活動にあたっている。	12	13	0	0	3.5	A
	4	本校は、組織的な教育活動が行われている。	11	14	0	0	3.4	A
	5	あなたは、自分の校務分掌を責任を持って果たしている。	10	15	0	0	3.4	A
	6	あなたは、職務上「報告・連絡・相談・確認」を常に意識し、行っている。	16	9	0	0	3.6	A
	7	あなたは、生徒の健康や安全に配慮した教育・指導（安全教育を含む）を行っている。	14	11	0	0	3.6	A
	8	あなたは、校舎内外の環境整備を適切に行っている。	13	12	0	0	3.5	A
	9	あなたは、校内研究の内容を理解し、確認事項を実践している。	8	17	0	0	3.3	A
III 学 習 指 導	10	あなたは、年間指導計画に基づき、授業を進めている。	9	15	1	0	3.3	A
	11	あなたは、楽しくわかりやすい授業を行っている。	3	22	0	0	3.1	A
	12	あなたは、教科の指導内容について、基礎・基本を明確にし、それを定着させている。	5	20	0	0	3.2	A
	13	あなたは、話し合いや意見発表などの言語活動を授業等にとり入れている。（改）	2	22	1	0	3.0	A
	14	あなたは、評価計画に基づいて評価し、その評価結果を指導に生かしている。	5	20	0	0	3.2	A
	15	あなたは、宿題や家庭学習に対する指導を行っている。	2	21	2	0	3.0	A
	16	あなたは、学習が遅れた生徒・進んでいる生徒などへ、個に応じた指導を行っている。	2	19	4	0	2.9	B
IV 生 徒 指 導	17	あなたは、生徒理解のために生徒とのコミュニケーションに努め、誠意をもって接している。	13	12	0	0	3.5	A
	18	あなたは、生徒の所属感を高め積極的に行事等に参加させる指導を行っている。	9	16	0	0	3.4	A
	19	あなたは、生徒の努力や工夫したことを認め、励ましている。（新）	11	14	0	0	3.4	A
	20	あなたは、豊かな心の育成を意識して道徳教育を行っている。（改）	1	21	3	0	2.9	B
	21	あなたは、生徒の個性を尊重しながら、生き方を考えさせる教育活動（進路指導やキャリア教育等）を行っている。（改）	7	18	0	0	3.3	A
	22	あなたは、いじめについて、未然防止、早期発見に努め、毅然とした対応を行っている。（改）	12	13	0	0	3.5	A
	23	生徒は、学校生活を楽しんでいる。	8	17	0	0	3.3	A
	24	生徒は、決められたルール（身なり、交通ルール等）を守って学校生活を送っている。	6	19	0	0	3.2	A
	25	生徒は、適切な言葉遣いで先生や友達と会話ができている。	1	22	2	0	3.0	A
	26	生徒は、係活動や当番活動に主体的に取り組んでいる。	4	21	0	0	3.2	A
V 家 庭・地 域 の 連 携	27	あなたは、学校や学級等の様子などを、各種たよりやホームページなどを通じてわかりやすく伝えている。（改）	4	19	2	0	3.1	A
	28	本校は、保護者が行事やその他の教育活動に参加しやすいように工夫をしている。	11	14	0	0	3.4	A
	29	本校は、地域人材を活用したり、生徒が地域の行事に参加したりするなど、地域と連携している。（新）	4	21	0	0	3.2	A
VI 学 校 の 特 色	30	部活動では、日常の活動を通して教育的成果を上げている。	10	15	0	0	3.4	A
	31	朝の読書は、生徒にとってプラスになっている。（改）	10	15	0	0	3.4	A
	32	生徒は、学校や地域ですすんであいさつをしている。（改）	4	19	2	0	3.1	A

【資料1-2】

H30年後期 教職員「自己評価」〈前期との比較〉

平成30年12月 白根御勅使中学校

4:十分達成している, 3:概ね達成している, 2:どちらかというと達成していない, 1:ほとんど達成していない

項目	No	評価項目	H30後期		H30前期		比較	
			平均	判定	平均	判定	アップ ダウン	差
I 学校教 育目標	1	学校教育目標は、生徒・地域の実態に即したものになっている。	3.5	A	3.6	A	↓	-0.1
	2	あなたは、学校教育目標を意識し、生徒の指導に生かしている。	3.4	A	3.4	A	-	0.0
II 学校経営・ 学校運営	3	あなたは、他の教職員と相互理解や信頼関係を深めて教育活動にあたっている。	3.5	A	3.5	A	-	0.0
	4	本校は、組織的な教育活動が行われている。	3.4	A	3.4	A	-	0.0
	5	あなたは、自分の校務分掌を責任を持って果たしている。	3.4	A	3.3	A	↑	0.1
	6	あなたは、職務上「報告・連絡・相談・確認」を常に意識し、行っている。	3.6	A	3.6	A	-	0.0
	7	あなたは、生徒の健康や安全に配慮した教育・指導（安全教育を含む）を行っている。	3.6	A	3.3	A	↑	0.3
	8	あなたは、校舎内外の環境整備を適切に行っている。	3.5	A	3.4	A	↑	0.1
	9	あなたは、校内研究の内容を理解し、確認事項を実践している。	3.3	A	3.3	A	-	0.0
III 学習指導	10	あなたは、年間指導計画に基づき、授業を進めている。	3.3	A	3.1	A	↑	0.2
	11	あなたは、楽しくわかりやすい授業を行っている。	3.1	A	3.0	A	↑	0.1
	12	あなたは、教科の指導内容について、基礎・基本を明確にし、それを定着させている。	3.2	A	3.2	A	-	0.0
	13	あなたは、話し合いや意見発表などの言語活動を授業等にとり入れている。（改）	3.0	A	3.1	A	↓	-0.1
	14	あなたは、評価計画に基づいて評価し、その評価結果を指導に生かしている。	3.2	A	3.2	A	-	0.0
	15	あなたは、宿題や家庭学習に対する指導を行っている。	3.0	A	3.1	A	↓	-0.1
IV 生徒指導	16	あなたは、学習が遅れた生徒・進んでいる生徒などへ、個に応じた指導を行っている。	2.9	B	3.0	A	↓	-0.1
	17	あなたは、生徒理解のために生徒とのコミュニケーションに努め、誠意をもって接している。	3.5	A	3.4	A	↑	0.1
	18	あなたは、生徒の所属感を高め積極的に行事等に参加させる指導を行っている。	3.4	A	3.2	A	↑	0.2
	19	あなたは、生徒の努力や工夫したことを認め、励ましている。（新）	3.4	A	3.4	A	-	0.0
	20	あなたは、豊かな心の育成を意識して道徳教育を行っている。（改）	2.9	B	3.3	A	↓	-0.4
	21	あなたは、生徒の個性を尊重しながら、生き方を考えさせる教育活動（進路指導やキャリア教育等）を行っている。（改）	3.3	A	3.2	A	↑	0.1
	22	あなたは、いじめについて、未然防止、早期発見に努め、毅然とした対応を行っている。（改）	3.5	A	3.4	A	↑	0.1
	23	生徒は、学校生活を楽しんでいる。	3.3	A	3.2	A	↑	0.1
	24	生徒は、決められたルール（身なり、交通ルール等）を守って学校生活を送っている。	3.2	A	3.2	A	-	0.0
	25	生徒は、適切な言葉遣いで先生や友達と会話ができている。	3.0	A	3.0	A	-	0.0
V 家庭・地 域との 連携	26	生徒は、係活動や当番活動に主体的に取り組んでいる。	3.2	A	3.0	A	↑	0.2
	27	あなたは、学校や学級等の様子などを、各種たよりやホームページなどを通じてわかりやすく伝えている。（改）	3.1	A	3.1	A	-	0.0
	28	本校は、保護者が行事やその他の教育活動に参加しやすいように工夫をしている。（新）	3.4	A	3.3	A	↑	0.1
VI 学校の 特色	29	本校は、地域人材を活用したり、生徒が地域の行事に参加したりするなど、地域と連携している。（新）	3.2	A	3.1	A	↑	0.1
	30	部活動では、日常の活動を通して教育的成果を上げている。	3.4	A	3.3	A	↑	0.1
	31	朝の読書は、生徒にとってプラスになっている。（改）	3.4	A	3.4	A	-	0.0
	32	生徒は、学校や地域ですすんであいさつをしている。（改）	3.1	A	3.2	A	↓	-0.1

↑	14
↓	6

【資料2-1】

H30年度後期 保護者アンケート集計										
No	評価項目	合計				平均値	判定	学年平均値		
		4	3	2	1			1年	2年	3年
1	お子さんは、学校生活を楽しんでいる。	118	123	17	2	3.4	A	3.5	3.4	3.3
2	お子さんは、学習に意欲的に取り組んでいる。(新)	58	113	77	12	2.8	B	2.8	2.8	2.9
3	お子さんは、生徒会活動や行事に意欲的に取り組んでいる。(新)	99	109	40	4	3.2	A	3.2	3.3	3.1
4	お子さんは、部活動に意欲的に取り組んでいる。(取り組んでいた。)(新)	164	71	7	12	3.5	A	3.5	3.6	3.4
5	お子さんは、清掃活動や係り活動、作業などに、まじめに取り組んでいる。(新)	117	107	24	1	3.4	A	3.3	3.5	3.3
6	お子さんは、きちんとした服装や髪型で学校生活を送っている。(改)	176	78	5	1	3.7	A	3.7	3.7	3.5
7	お子さんは、適切な言葉遣いで、友人や先生と会話をしている。(改)	84	128	31	3	3.2	A	3.2	3.2	3.2
8	お子さんは、学校や地域ですすんであいさつをしている。(改)	111	116	20	4	3.3	A	3.3	3.3	3.4
9	お子さんは、自分の進路について学習したり考えたりしている。(新)	58	117	64	17	2.8	B	2.6	2.7	3.2
10	お子さんは、友人を大切に、いじめや仲間はずれをしないようにしている。(新)	163	90	1	0	3.6	A	3.7	3.6	3.7
11	お子さんは、家では家族とよく話をしている。(改)	138	104	13	5	3.4	A	3.5	3.4	3.4
12	お子さんは、毎日の家庭学習を習慣にしている。(改)	57	101	67	32	2.7	B	2.9	2.5	2.7
13	お子さんは、健康や安全に気をつけて、規則正しい生活を送っている。(新)	86	128	36	9	3.1	A	3.2	3.0	3.1
14	お子さんには良いところがあると思う。(新)	193	64	2	0	3.7	A	3.8	3.7	3.8
15	先生は、わかりやすい授業をしている。	70	127	14	0	3.3	A	3.4	3.2	3.2
16	先生は、話し合いや意見発表など、学びあいのある授業をしている。(新)	90	119	5	1	3.4	A	3.5	3.3	3.3
17	先生は、生徒の努力や工夫したことを認めてくれる。(新)	111	118	9	0	3.4	A	3.5	3.3	3.4
18	先生は、生徒を適切・公平に評価している。(新)	110	100	11	1	3.4	A	3.5	3.4	3.4
19	先生は、生徒の心配ごとなどについて相談にのってくれる。(改)	110	106	10	0	3.4	A	3.5	3.4	3.4
20	学園祭やその他、学校行事が充実している。	131	119	7	0	3.5	A	3.5	3.6	3.4
21	教育活動に適した施設・設備が整っている。	150	101	5	0	3.6	A	3.6	3.5	3.6
22	朝の読書は、生徒のプラスになっている。(改)	124	93	14	3	3.4	A	3.5	3.4	3.4
23	花づくりやごみ拾いなど環境美化活動が充実している。(改)	100	130	12	3	3.3	A	3.3	3.3	3.4
24	学校は、たよりやホームページなどで、学校の様子や情報を伝えている。(改)	128	117	7	3	3.5	A	3.6	3.5	3.3
25	学校は、保護者が行事やその他の教育活動に参加しやすいように工夫をしている。	108	134	7	1	3.4	A	3.4	3.5	3.3

【資料2-2】

H30年度後期保護者アンケート〈前期との比較〉

No	H30年度後期 保護者アンケート集計 評価項目	H30 後期		H29 No	H30 前期		比較	
		平均値	判定		平均値	判定	アップ ダウン	差
1	お子さんは、学校生活を楽しんでいる。	3.4	A	21	3.4	A	-	0.0
2	お子さんは、学習に意欲的に取り組んでいる。(新)	2.8	B		2.8	B	-	0.0
3	お子さんは、生徒会活動や行事に意欲的に取り組んでいる。(新)	3.2	A	25	3.1	A	↑	0.1
4	お子さんは、部活動に意欲的に取り組んでいる。(取り組んでいた。)(新)	3.5	A		3.4	A	↑	0.1
5	お子さんは、清掃活動や係り活動、作業などに、まじめに取り組んでいる。(新)	3.4	A	26	3.4	A	-	0.0
6	お子さんは、きちんとした服装や髪型で学校生活を送っている。(改)	3.7	A		3.6	A	↑	0.1
7	お子さんは、適切な言葉遣いで、友人や先生と会話をしている。(改)	3.2	A	22	3.2	A	-	0.0
8	お子さんは、学校や地域ですすんであいさつをしている。(改)	3.3	A		3.3	A	-	0.0
9	お子さんは、自分の進路について学習したり考えたりしている。(新)	2.8	B	24	2.7	B	↑	0.1
10	お子さんは、友人を大切に、いじめや仲間はずれをしないようにしている。(新)	3.6	A		3.5	A	↑	0.1
11	お子さんは、家では家族とよく話をしている。(改)	3.4	A	27	3.4	A	-	0.0
12	お子さんは、毎日の家庭学習を習慣にしている。(改)	2.7	B		2.7	B	-	0.0
13	お子さんは、健康や安全に気をつけて、規則正しい生活を送っている。(新)	3.1	A	7	3.1	A	-	0.0
14	お子さんには良いところがあると思う。(新)	3.7	A		3.7	A	-	0.0
15	先生は、わかりやすい授業をしている。	3.3	A	9	3.2	A	↑	0.1
16	先生は、話し合いや意見発表など、学びあいのある授業をしている。(新)	3.4	A		3.3	A	↑	0.1
17	先生は、生徒の努力や工夫したことを認めてくれる。(新)	3.4	A	8	3.4	A	-	0.0
18	先生は、生徒を適切・公平に評価している。(新)	3.4	A		3.3	A	↑	0.1
19	先生は、生徒の心配ごとなどについて相談にのってくれる。(改)	3.4	A	17	3.4	A	-	0.0
20	学園祭やその他、学校行事が充実している。	3.5	A		3.4	A	↑	0.1
21	教育活動に適した施設・設備が整っている。	3.6	A	6	3.5	A	↑	0.1
22	朝の読書は、生徒のプラスになっている。(改)	3.4	A		3.4	A	-	0.0
23	花づくりやごみ拾いなど環境美化活動が充実している。(改)	3.3	A	19	3.4	A	↓	-0.1
24	学校は、たよりやホームページなどで、学校の様子や情報を伝えている。(改)	3.5	A		3.3	A	↑	0.2
25	学校は、保護者が行事やその他の教育活動に参加しやすいように工夫をしている。	3.4	A	15	3.3	A	↑	0.1
							↑	12
						↓	1	

【資料3-1】

H30年度後期 生徒アンケート集計										
No	評価項目	合計				平均値	判定	学年平均値		
		4	3	2	1			1年	2年	3年
1	私にとって、学校は楽しい。	144	93	12	13	3.4	A	3.5	3.5	3.2
2	私は、学習に意欲的に取り組んでいる。	85	129	37	11	3.1	A	3.2	3.2	2.9
3	私は、生徒会活動や行事に意欲的に取り組んでいる。(新)	117	107	28	10	3.3	A	3.2	3.3	3.2
4	私は、部活動に意欲的に取り組んでいる。(取り組んでいた。)	178	58	17	8	3.6	A	3.7	3.7	3.3
5	私は、清掃活動や係り活動、作業などに、まじめに取り組んでいる。	153	94	10	5	3.5	A	3.5	3.6	3.5
6	私は、きちんとした服装や頭髪(とうはつ)で学校生活を送っている。	188	63	9	2	3.7	A	3.7	3.7	3.6
7	私は、適切な言葉遣(ことばづか)いで、友人や先生と会話をしている。(改)	118	122	16	6	3.3	A	3.3	3.5	3.3
8	私は、学校や地域ですすんであいさつをしている。	159	81	14	8	3.5	A	3.5	3.6	3.4
9	私は、自分の進路について学習したり考えたりしている。(新)	103	114	31	14	3.2	A	3.1	3.2	3.2
10	私は、友人を大切に、いじめや仲間はずれをしないようにしている。(改)	199	58	2	2	3.7	A	3.7	3.8	3.7
11	私は、家では家族とよく話をしている。	165	65	29	3	3.5	A	3.6	3.6	3.3
12	私は、毎日の家庭学習が、習慣(しゅうかん)になっている。	69	100	68	25	2.8	B	3.0	2.7	2.7
13	私は、健康や安全に気をつけて、規則正しい生活を送っている。(改)	129	98	22	13	3.3	A	3.5	3.4	3.1
14	私には良いところがあると思う。(新)	95	106	40	21	3.0	A	3.2	3.1	2.8
15	先生は、わかりやすい授業をしている。(改)	148	98	13	3	3.5	A	3.7	3.5	3.2
16	先生は、話し合いや意見発表など、学びあいのある授業をしている。(新)	153	94	10	5	3.5	A	3.8	3.5	3.2
17	先生は、自分の努力や工夫したことを認めてくれる。(改)	146	96	16	4	3.5	A	3.6	3.5	3.2
18	先生は、生徒を適切・公平に評価している。	146	87	22	6	3.4	A	3.6	3.5	3.2
19	先生は、心配なことなどの相談にのってくれる。(改)	139	96	22	5	3.4	A	3.6	3.4	3.2
20	学園祭やその他、学校行事が充実している。	180	64	11	6	3.6	A	3.8	3.7	3.3
21	学校の施設・設備は、整っている。(新)	192	58	8	4	3.7	A	3.8	3.8	3.5
22	朝の読書は、自分にプラスになっている。(改)	159	71	23	9	3.5	A	3.5	3.6	3.3
23	花づくりやごみ拾いなど環境美化活動が行われている。(新)	112	35	2	2	3.7	A	3.8	3.6	3.6
24	たよりやホームページなどで、学校の様子や情報が伝えられている。(新)	94	45	4	8	3.5	A	3.6	3.4	3.2

【資料3-2】

平成30年度後期生徒用アンケート〈前期との比較〉

No	平成30年度後期 生徒アンケート集計 評価項目	平成30年度後期		H29 No.	平成30年度前期		比較	
		平均	判定		平均	判定	アップ ダウン	差
1	私にとって、学校は楽しい。	3.4	A	10	3.2	A	↑	0.2
2	私は、学習に意欲的に取り組んでいる。	3.1	A	17	3.1	A	—	0.0
3	私は、生徒会活動や行事に意欲的に取り組んでいる。(新)	3.3	A		3.3	A	—	0.0
4	私は、部活動に意欲的に取り組んでいる。(取り組んでいた。)	3.6	A	21	3.5	A	↑	0.1
5	私は、清掃活動や係り活動、作業などに、まじめに取り組んでいる。	3.5	A	20	3.5	A	—	0.0
6	私は、きちんとした服装や頭髪(とうはつ)で学校生活を送っている。	3.7	A	15	3.6	A	↑	0.1
7	私は、適切な言葉遣(ことばづか)いで、友人や先生と会話をしている。(改)	3.3	A	16	3.3	A	—	0.0
8	私は、学校や地域ですすんであいさつをしている。	3.5	A	11	3.5	A	—	0.0
9	私は、自分の進路について学習したり考えたりしている。(新)	3.2	A		3.0	A	↑	0.1
10	私は、友人を大切に、いじめや仲間はずれをしないようにしている。(改)	3.7	A	22	3.7	A	—	0.0
11	私は、家では家族とよく話をしている。	3.5	A	13	3.5	A	—	0.0
12	私は、毎日の家庭学習が、習慣(しゅうかん)になっている。	2.8	B	18	2.8	B	—	0.0
13	私は、健康や安全に気をつけて、規則正しい生活を送っている。(改)	3.3	A	19	3.3	A	—	0.0
14	私には良いところがあると思う。(新)	3.0	A		2.9	B	↑	0.1
15	先生は、わかりやすい授業をしている。(改)	3.5	A	3	3.5	A	—	0.0
16	先生は、話し合いや意見発表など、学びあいのある授業をしている。(新)	3.5	A		3.5	A	—	0.0
17	先生は、自分の努力や工夫したことを認めてくれる。(改)	3.5	A	7	3.4	A	↑	0.1
18	先生は、生徒を適切・公平に評価している。	3.4	A	8	3.4	A	—	0.0
19	先生は、心配なことなどの相談にのってくれる。(改)	3.4	A	5	3.4	A	—	0.0
20	学園祭やその他、学校行事が充実している。	3.6	A	4	3.5	A	↑	0.1
21	学校の施設・設備は、整っている。(新)	3.7	A		3.6	A	↑	0.1
22	朝の読書は、自分にプラスになっている。(改)	3.5	A	2	3.4	A	↑	0.1
23	花づくりやごみ拾いなど環境美化活動が行われている。(新)	3.7	A		3.6	A	↑	0.1
24	たよりやホームページなどで、学校の様子や情報が伝えられている。(新)	3.5	A		3.4	A	↑	0.1
							↑	11
							↓	0

H29の項目のうちH30に削除された項目・・・1・6・9・12・14

【資料4】

三者の比較 (H30年後期)

		教職員		保護者				生徒				
項目	No.	評価項目	平均	判定	No.	評価項目	平均	判定	No.	評価項目	平均	判定
I 学校教育目標	1	学校教育目標は、生徒・地域の実態に即したもになっている。	3.5	A								
	2	あなたは、学校教育目標を意識し、生徒の指導に生かしている。	3.4	A								
	3	あなたは、他の教職員と相互理解や信頼関係を深めて教育活動にあたっている。	3.5	A								
	4	本校は、組織的な教育活動が行われている。	3.4	A								
	5	あなたは、自分の校務分掌を責任を持って果たしている。	3.4	A								
	6	あなたは、職務上「報告・連絡・相談・確認」を常に意識し、行っている。	3.6	A								
	7	あなたは、生徒の健康や安全に配慮した教育・指導（安全教育を含む）を行っている。	3.6	A	13	お父さんは、健康や安全に気をつけて、規則正しい生活を送っている。（新）	3.1	A	13	私は、健康や安全に気をつけて、規則正しい生活を送っている。（改）	3.3	A
	8	あなたは、校舎内外の環境整備を適切に行っている。	3.5	A	23	花づくりやごみ拾いなど環境美化活動が充実している。（改）	3.3	A	23	花づくりやごみ拾いなど環境美化活動が行われている。（新）	3.7	A
	9	あなたは、校内研究の内容を理解し、確認事項を実践している。	3.3	A								
II 学校経営・学校運営	10	あなたは、年間指導計画に基づき、授業を進めている。	3.3	A								
	11	あなたは、楽しくわかりやすい授業を行っている。	3.1	A	15	先生は、わかりやすい授業をしている。	3.3	A	15	先生は、わかりやすい授業をしている。（改）	3.5	A
	12	あなたは、教科の指導内容について、基礎・基本を明確にし、それを定着させている。	3.2	A								
	13	あなたは、話し合いや意見発表などの言語活動を授業等にとり入れている。（改）	3.0	A	16	先生は、話し合いや意見発表など、学びあいのある授業をしている。（新）	3.4	A	16	先生は、話し合いや意見発表など、学びあいのある授業をしている。（新）	3.5	A
	14	あなたは、評価計画に基づいて評価し、その評価結果を指導に生かしている。	3.2	A								
	15	あなたは、宿題や家庭学習に対する指導を行っている。	3.0	A	12	お父さんは、毎日の家庭学習を習慣にしている。（改）	2.7	B	12	私は、毎日の家庭学習が、習慣（しゅうかん）になっている。	2.8	B
	16	あなたは、学習が遅れた生徒・進んでいる生徒などへ、個に応じた指導を行っている。	2.9	B								
III 学習指導	17	あなたは、生徒理解のために生徒とのコミュニケーションに努め、誠意をもって接している。	3.5	A	19	先生は、生徒の心配ごとなどについて相談にのってくれる。（改）	3.4	A	19	先生は、心配なことなどの相談にのってくれる。（改）	3.4	A
	18	あなたは、生徒の所属感を高め積極的に行事等に参加させる指導を行っている。	3.4	A	3	お父さんは、生徒会活動や行事に意欲的に取り組んでいる。（新）	3.2	A	3	私は、生徒会活動や行事に意欲的に取り組んでいる。（新）	3.3	A
	19	あなたは、生徒の努力や工夫したことを認め、励ましている。（新）	3.4	A	17	先生は、生徒の努力や工夫したことを認めてくれる。（新）	3.4	A	17	先生は、自分の努力や工夫したことを認めてくれる。（改）	3.5	A
	20	あなたは、豊かな心の育成を意識して道徳教育を行っている。（改）	2.9	B								
	21	あなたは、生徒の個性を尊重しながら、生き方を考えさせる教育活動（進路指導やキャリア教育等）を行っている。（改）	3.3	A	9	お父さんは、自分の進路について学習したり考えたりしている。（新）	2.8	B	9	私は、自分の進路について学習したり考えたりしている。（新）	3.2	A
	22	あなたは、いじめについて、未然防止、早期発見に努め、毅然とした対応を行っている。（改）	3.5	A	10	お父さんは、友人を大切に、いじめや仲間はずれをしないようにしている。（新）	3.6	A	10	私は、友人を大切に、いじめや仲間はずれをしないようにしている。（改）	3.7	A
	23	生徒は、学校生活を楽しんでいる。	3.3	A	1	お父さんは、学校生活を楽しんでいる。	3.4	A	1	私にとって、学校は楽しい。	3.4	A
	24	生徒は、決められたルール（身なり、交通ルール等）を守って学校生活を送っている。	3.2	A	6	お父さんは、きちんとした服装や髪型で学校生活を送っている。（改）	3.7	A	6	私は、きちんとした服装や髪型（とうはつ）で学校生活を送っている。	3.7	A
	25	生徒は、適切な言葉遣いで先生や友達と会話ができている。	3.0	A	7	お父さんは、適切な言葉遣いで、友人や先生と会話をしている。（改）	3.2	A	7	私は、適切な言葉遣い（ことばづかい）で、友人や先生と会話をしている。（改）	3.3	A
	26	生徒は、係活動や当番活動に主体的に取り組んでいる。	3.2	A	5	お父さんは、清掃活動や係活動、作業などに、まじめに取り組んでいる。（新）	3.4	A	5	私は、清掃活動や係活動、作業などに、まじめに取り組んでいる。	3.5	A
V 家庭・地域との連携	27	あなたは、学校や学級等の様子などを、各種たよりやホームページなどを通じてわかりやすく伝えている。（改）	3.1	A	24	学校は、たよりやホームページなどで、学校の様子や情報を伝えている。（改）	3.5	A	24	たよりやホームページなどで、学校の様子や情報が伝えられている。（新）	3.5	A
	28	本校は、保護者が行事やその他の教育活動に参加しやすいように工夫をしている。（新）	3.4	A	25	学校は、保護者が行事やその他の教育活動に参加しやすいように工夫をしている。	3.4	A				
	29	本校は、地域人材を活用したり、生徒が地域の行事に参加したりするなど、地域と連携している。（新）	3.2	A								
VI 学校の特色	30	部活動では、日常の活動を通して教育的成果を上げている。	3.4	A	4	お父さんは、部活動に意欲的に取り組んでいる。（取り組んでいた。）（新）	3.5	A	4	私は、部活動に意欲的に取り組んでいる。（取り組んでいた。）	3.6	A
	31	朝の読書は、生徒にとってプラスになっている。（改）	3.4	A	22	朝の読書は、生徒のプラスになっている。（改）	3.4	A	22	朝の読書は、自分にプラスになっている。（改）	3.5	A
	32	生徒は、学校や地域ですすんであいさつをしている。（改）	3.1	A	8	お父さんは、学校や地域ですすんであいさつをしている。（改）	3.3	A	8	私は、学校や地域ですすんであいさつをしている。	3.5	A